

日本の女性向けポピュラーカルチャーとしての宝塚歌劇の特徴

台湾の観客の視点から

大阪大学
東 園子

女性だけの劇団で男性の役も女性が演じ、独特のスタイルを持つ宝塚歌劇（以下、「宝塚」）が100年以上にわたり多くの女性たちから支持されてきたことは、女性に関する文化的状況の中で興味深い現象の一つである。そのファンは日本国内にとどまらず諸外国にも存在し、日本と同様に女性が多いようである。宝塚の海外での受容は、日本の様々なポピュラーカルチャーが諸外国に広まっている現象の一環として考えることができる。国外で愛好されている日本のポピュラーカルチャーには、宝塚に限らず女性向けのものが多くある。海外の宝塚の受容者は、宝塚と日本の他の女性向けポピュラーカルチャーに何らかの共通する魅力を感じているのだろうか。それを明らかにできれば、日本の女性向けポピュラーカルチャーの特徴や、その背後にあると考えられる日本社会のジェンダーをめぐる状況について理解を深めることができるだろう。

本報告では台湾を事例に、この問題について考える。宝塚は2013年と2015年に台湾で公演を行って成功を収め、女性を中心に現地のファンを増やした。台湾は世界的に見て、とりわけ日本のポピュラーカルチャーに接しやすい地域の一つといえる。宝塚の台湾公演の観客も、以前から日本のポピュラーカルチャーに慣れ親しんでいる女性が少なくないようである。本報告では、2013年と2015年に台湾で行った、宝塚を観劇した現地の女性に対するインタビュー調査を元に、調査対象者たちが宝塚と他のポピュラーカルチャーと比較してどのような特徴を見出しているのかを分析する。

インタビュー対象者が宝塚について語る際、複数の人から引き合いに出されたポピュラーカルチャーは、日本の少女漫画と男性アイドル、また、日本でも人気の高いディズニー映画だった。前二者があげられたことから、宝塚が他の日本の女性向けポピュラーカルチャーに通じる性質を持っていることがうかがえる。彼女たちが感じた少女漫画や男性アイドルと宝塚の共通点として、美しさや優しさといった女性的とされる性質を持つ男性像があった。特に、宝塚と少女漫画においては、どちらも登場する男性が非現実的であると述べられていた。また、宝塚と男性アイドルの間には、凝集力の高い同性集団であるという共通性が見出されていた。これらの要素は、様々な形で近代化以降の日本における性別隔離的な文化の影響を受けて形成されたものではないかと考えられる。

※ 本報告は、2014～2016年度日本学術振興会科学研究費（若手研究（B））「東アジアで受容される日本の女性向けポピュラーカルチャーが示す男性像の実証的研究」（研究課題番号：26870349・代表：東 園子）の助成を受けた研究に基づくものである。